

# 小郡市青少年育成市民会議

## 40周年記念誌



*The 40th*

*Anniversary*

*Since 1983*

# 小郡市青少年育成市民会議40周年記念大会



工藤会長



加地市長



井上県議



横尾県議

市民会議40周年記念大会（令和5年11月5日）に  
おける会長あいさつと来賓祝辞から。  
ご来賓の皆さま方、誠にありがとうございました。



中村政子様 作

## 目 次

◆	小郡市青少年育成市民会議結成大会決議	
◆	小郡市青少年育成スローガン	
1	ごあいさつ	1
2	祝辞	2
3	役員及び事業年表（平成25年度～令和5年度）	6
4	事業の主な担当者一覧表	7
5	歴代理事一覧表	8
6	功労者表彰	10
7	事業の紹介	11
	（1）オアシス運動	
	（2）ボランティア推進活動	
	（3）子ども安心安全見守り活動	
	（4）0歳期教育推進	
	（5）おごおりっ子からのメッセージ	
	（6）花いっぱい運動	
	（7）ジュニアリーダー研修会（夏季・冬季）	
	（8）ジュニア研修会（夏季・冬季）	
	（9）親子体験活動	
8	40周年記念大会	21
9	市民会議だより	23
10	小郡市青少年育成市民会議 規約	28
11	40周年記念事業実行委員会名簿・編集後記	30

## 小郡市青少年育成市民会議結成大会決議

青少年が心身ともに健康に育ち、情操豊かな社会人に育つことは、全市民の願いであり、あわせて青少年の健全育成、非行防止に尽力することが、地域住民の務めであります。

小郡市青少年育成市民会議結成にあたり、全ての青少年がその輝かしい未来を拓くことを念願し、全ての青少年に愛情と理解と信頼を寄せ、市民参加による青少年健全育成、非行防止運動を積極的に推進することを決議します。

昭和58年7月10日

## 小郡市青少年育成スローガン

1. ふるさとを愛する豊かな心をもつ青少年にそだてよう
2. 他人の子どももほめて叱って愛情をもって伸ばそう
3. あいさつは心のふれあう第一歩、進んでオアシス運動を実践しよう
4. 青少年の手本となるよう行動しよう
5. 小さな親切運動を実践しよう

(昭和63年1月30日 小郡市青少年育成市民大会)



## ごあいさつ



## 令和5年度～会長 工藤 正則

小郡市青少年育成市民会議設立40周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。小郡市青少年育成市民会議（以下、市民会議という）は、昭和58年7月10日に結成されました。その結成大会決議文は以下の通りです。

「青少年が心身ともに健康に育ち、情操豊かな社会人に育つことは、全市民の願いであり、あわせて青少年の健全育成、非行防止に尽力することが地域住民の務めであります。小郡市青少年育成市民会議結成にあたり、全ての青少年がその輝かしい未来を拓くことを念願し、全ての青少年に愛情と理解と信頼を寄せ、市民参加による青少年健全育成、非行防止運動を積極的に推進することを決議します。」

私ども市民会議では、この決議文の精神にのっとり、学校、地域、家庭が一体となり、「大人が変われば子どもも変わる～小郡の子どもは小郡で守り育てよう～」というテーマで、市民参加による青少年健全育成を積極的に進めてまいりました。

近年の青少年を取り巻く社会の状況は、市民会議設立当時とは激変しており、国際化・情報化の進展、少子化、核家族化など、我が国の経済社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化しております。一方で社会の傾向としては、人間関係の希薄化、地域社会のコミュニティ意識の衰退、過度に経済性や効率性を重視する傾向、大人優先の社会風潮などの状況が見られるといったことが指摘されております。そして、このような社会の状況は、地域社会などにおける子どもの育ちを巡る環境や家庭における親の子育て環境に変化を与えており、その影響を受け、子どもたちを取り巻く環境も、いじめや虐待、ヤングケアラー、貧困問題、パソコンやスマートフォンの普及によるSNS依存や有害情報の氾濫など、様々な課題に直面しております。

このような状況を踏まえ、市民会議では校区育成会や青少年関係団体との連携協力を進め、青少年の健全育成を支援してまいりました。しかしながら、ここ数年は市民会議も様々な面で厳しい状況にあります。今ここに原点回帰し、市民会議の存在意義、活動内容を広く地域の方々に普及啓発し、設立当時の市民の皆様の熱い思いをつないでいく必要があると考えます。

これまで「自然や文化、多様な人々との触れ合い」、「自らが考え、実行する体験の場や機会の場」を積極的に提供し、青少年の健全育成をめざした取組を推進してまいりました。

「花いっぱい運動」、「夏季・冬季ジュニアリーダー研修」、「おごおりっ子からのメッセージ」、「オアシス運動」、「校区育成会実践発表会」、「食育体験講座」など、現時点では事業見直しでなくなった取組もございしますが、青少年の心を育てる活動を工夫・改善しながら充実させてまいりました。設立40周年にあたり、記念大会を開催し、さらなる発展へ向け、関係者一同鋭意邁進いたす所存でございます。

最後になりますが、市民会議とその活動にご理解とご協力をいただき心から深く感謝いたしますとともに、今後とも、さらなるご指導、ご鞭撻のほどお願いし、ご挨拶といたします。

## 祝 辞



小郡市長 加地 良光

小郡市青少年育成市民会議設立40周年を心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

次世代を担う子どもたちが心身ともに健康に育ち、心豊かに成長することは、市民全ての願いであります。

そのような中、小郡市青少年育成市民会議におかれましては、1983年の設立以来、「花いっぱい運動」「ジュニア研修会」「おごおりっ子からのメッセージ」「親子食育体験」など、自然や文化、様々な人々とのふれあいや自らが考え実行するといった体験の場を提供し、青少年の健全育成を目指した多様な取り組みを展開されておられることに、心から敬意を表する次第であります。

小郡市青少年育成市民会議の皆様方におかれましては、次世代を担う子どもたちの健やかな成長のために、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本市といたしましても、子どもたちが郷土である小郡市に愛着と誇りを感じ、小郡に住んで良かった、住み続けたいと思えるような「人がつながり 市民が躍動する温かみのある都市（まち）おごおり」を目指して様々な取り組みを行っていきたく思っていますので、今後とも、ご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、小郡市の子どもたちが志を持ち、未来へ向かって輝きますように、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。

## 祝 辞



小郡市教育委員会 教育長 秋永 晃生

小郡市青少年育成市民会議の設立40周年に際しまして、心よりお祝い申し上げます。

小郡市青少年育成市民会議は、昭和58年の結成からこれまで、小郡市の青少年の育成に大きく寄与されてこられました。活動テーマである『大人が変われば子どもも変わる』～小郡の子どもは小郡で守り育てよう～という理念は、情報技術の急速な進展、少子高齢化等、変化の激しい現在の社会において、一層大切なテーマになるものと感じています。

小郡市青少年育成市民会議は、これまで、「花いっぱい運動」「ジュニア研修会」「おごおりっ子からのメッセージ」「子ども安心安全見守り活動」等々、数々の取り組みを通して、学校、家庭、地域と連携し、地域に根差した育成活動にご尽力されてこられました。

そのご功績に対し、小郡市教育委員会といたしまして、深く敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し申し上げます。

小郡市教育委員会といたしましても、現在、「夢や願いに向かって逞しく進み【自律】、人とつながりあって心を働かせ【共想】、喜びあふれる豊かな郷土をつくりだす【郷生】 小郡の子どもたち」の育成をめざし、「地域とともにある学校づくり」「保幼・小・中の連携・一貫教育の推進」「自己実現を図る学びの充実」等を推進しております。

今後も小郡市青少年育成市民会議と連携を図りながら、子どもたちの育成に努めて参りたいと考えております。

最後になりましたが、小郡市青少年育成市民会議の取り組みの今後益々の充実・発展を祈念いたしまして、祝辞といたします。

## 祝 辞



福岡県議会議員 井上 忠敏

このたび小郡市青少年育成市民会議が創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。工藤正則会長をはじめとする多くの方々のご努力とご尽力により、この記念すべき時を迎えることができましたことに、深く敬意を表する次第です。

貴市民会議は今から40年前の昭和58年、全ての青少年に愛情と理解と信頼を寄せ、市民参加による青少年健全育成、非行防止運動を積極的に推進することを大会決議として採択し設立されました。

以来、五つのスローガンを軸とし、花いっぱい運動、ジュニア研修会、子ども安心安全見守り活動、ふれあいボランティアサポート事業など、五つの部会を通じて数多くの事業を続けてこられ、青少年育成はもとより、この地域にボランティア精神が根付いていること、よりよい地域社会づくりに向けた多大なる貢献をされていることに、この地域を代表して改めて感謝申し上げます。

ここ数年は暗い影を落とす未曾有のコロナ禍により、思うような活動が出来ず、大変苦勞された面も多かったと推察いたしますが、少子化や生徒数の減少、家族とのふれあいや仲間達と絆を育む機会の減少など、今日の青少年をとりまく環境をみると多くの問題が山積みしており、これらの解決を図るためには、やはり貴市民会議に対する期待も大きいものです。

次世代を担う青少年が郷土愛を育み健やかに成長することは、市民すべての願いですし、私もそういった思いを皆様と共有させて頂きながら、今後とも変わることのない郷土愛に満ちた政治活動を行っていく所存です。

最後になりますが、貴市民会議の皆様にもこれまでと変わることのないお力添えを賜りますようお願い申し上げます、そして貴市民会議の今後益々の御発展を心から祈念いたしまして、御祝いの言葉といたします。



## 祝 辞



福岡県議会議員 横尾 政則

この度、小郡市青少年育成市民会議が設立40周年を迎えられ、併せて記念誌が発刊されますことを心よりお祝いを申し上げます。

小郡市青少年育成市民会議の皆様におかれましては、日頃から「こども110番の家運動」や「ジュニア研修会」など、青少年を見守る活動に多大なる御尽力をいただき、ここ3年間のコロナ禍では、事業の参加者と関係者の安全確保を最優先とし、新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じて事業を展開されましたことに深く敬意を表します。

また、このコロナ禍の期間は、家族が家庭内で過ごす時間が長くなり、お互いを見つめ直し、その絆を深める機会にもなりました。近年、青少年の生活習慣の乱れ、ネットやゲームへの依存、SNSを通じた犯罪被害、児童虐待の増加・深刻化などの問題が顕在化しています。これらの青少年をめぐる多様で複合的な問題の解決には、これまで以上に、家庭・地域・学校が一体となり、社会全体で青少年を見守り、育てていく取組を推進していかなければなりません。

県では本年度から、県民会議と県との連携をより一層強化し、新事業である「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」がスタートしました。このプロジェクトは、県民会議を中心に市町村、地域団体、企業等多様な団体と一緒に、子どもたちに様々な体験活動を提供することで、子どもたちが切磋琢磨しながら自らの能力を磨き、チャレンジする力を身に付けていくことを目指しています。「青少年に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会」を実現するためには、行政だけではなく、市民会議の皆様を中心とした地域の力や熱意が必要不可欠です。未来を担う青少年が夢や希望をもてるよう、引き続き、御支援、御協力をお願い申し上げます。

末筆ながら、小郡市青少年育成市民会議のますますの御発展と貴会の皆様の御健勝を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 役員及び事業年表

	会長	副会長	監事	総会	主な事業
平25	河原正治	塚本桂子 久保山伸一郎	田竈勝利 長尾光益	平成25年5月11日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、研修会、おごおりっ子からのメッセージ、校区実践発表会、30周年記念事業(7月15日)
平26	河原正治	藤戸昭俊 山下嘉成 諸泉博文	緒方 龍 吉田紗紀子	平成26年5月10日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、研修会、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティアパスポート、校区実践発表会
平27	河原正治	児島征毅 矢野晴一 江嶋三紀男	木下綾子 橋爪 茂	平成27年5月9日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、研修会、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティアパスポート、校区実践発表会
平28	河原正治	長谷川敬二 渡邊美穂子 西村栄子	西川千春 中島輝光	平成28年5月7日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、視察研修会、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティアパスポート、校区実践発表会
平29	安部ミチ子	山村 司 工藤正則 篠原博秋	深川博英 森田清司	平成29年5月21日、 小郡市文化会館 大ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、視察研修会、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティアパスポート、校区実践発表会
平30	安部ミチ子	森 勝則 吉岡智美 木村 淳	福山正則 松尾福雄	平成30年5月13日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、視察研修会、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティアパスポート、校区実践発表会
令元	竹内 努	森 勝則 工藤正則 鯉川武徳	天本知恵子 池田亮子	令和元年5月12日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、オアシス運動、ジュニアリーダー研修、0歳期研修、研修会、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティアパスポート、校区実践発表会
令2	竹内 努	森 勝則 内田淑子 堀田由香	嶋田暁人 柴山弘樹	臨時総会：令和2年 4月27日～5月11日、 通常総会：同年8月 12日～24日。 いずれも新型コロナ ウイルス感染症 対策のため「書面 表決」で実施	花いっぱい運動、指導者研修会、ボランティアパスポート、子ども安心安全活動（事業見直しや新型コロナウイルス感染症対策のため、オアシス運動やおごおりっ子からのメッセージなどを中止）
令3	森 勝則	工藤正則 清原龍彦 深町幸弘	猪口直子 草場利勝	令和3年4月28日～ 5月12日、新型コロナ ウイルス感染症 対策のため「書面 表決」で実施	花いっぱい運動、ジュニア研修、親子体験活動、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティア推進活動、筑後北地区研修大会、子ども安心安全見守り活動
令4	森 勝則	工藤正則 清原龍彦 小屋松和行	米田管子 百瀬光子	令和4年5月14日、 小郡市文化会館 大ホール	花いっぱい運動、ジュニア研修、親子体験活動、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティア推進活動、子ども安心安全見守り活動
令5	工藤正則	山田敏郎 藤江浩太郎 山本 拓	森田清司 大場美紀	令和5年5月28日、 生涯学習センター 七夕ホール	花いっぱい運動、ジュニア研修、親子体験活動、おごおりっ子からのメッセージ、ボランティア推進活動、子ども安心安全見守り活動、40周年記念大会(11月5日)

## 事業の主な担当者一覧表

	事務局長	事務局員	校区指導員			
平25	帆足徳男	田中恭子	小郡校区 松尾道雄	大原中校区 塚本良作	大原中校区 池内和征	三国中校区 長廣 学
			三国中校区 佐々木優	立石校区 重松哲夫	御原校区 野口和美	味坂校区 徳田裕人
平26	松葉智子	田中恭子	小郡校区 天本勝典	大原中校区 塚本良作	大原中校区 竹内 努	三国中校区 長廣 学
			三国中校区 成富健二	立石校区 重松哲夫	御原校区 内野 徹	味坂校区 権藤清英
平27	松葉智子	田中恭子	小郡校区 天本勝典	大原校区 塚本良作	東野校区 竹内 努	のぞみが丘校区 長廣 学
			三国校区 成富健二	立石校区 重松哲夫	御原校区 山下義信	味坂校区 権藤清英
平28	松葉智子	田中恭子	小郡校区 野口忠弘	大原校区 塚本良作	東野校区 竹内 努	のぞみが丘校区 長廣 学
			三国校区 小川喜光	立石校区 重松哲夫	御原校区 山下義信	味坂校区 権藤清英
平29	松葉智子	田中恭子	小郡校区 野口忠弘	大原校区 塚本良作	東野校区 藤山龍朗	のぞみが丘校区 長廣 学
			三国校区 宮地忠広	立石校区 重松哲夫	御原校区 山下義信	味坂校区 白水祐一朗
平30	肥山明夫	田中恭子	小郡校区 野口忠弘	大原校区 塚本良作	東野校区 藤山龍朗	のぞみが丘校区 長廣 学
			三国校区 宮地忠広	立石校区 重松哲夫	御原校区 山下義信	味坂校区 白水祐一朗
令元	是永和一	田中恭子	小郡校区 野口忠弘	大原校区 塚本良作	東野校区 藤山龍朗	のぞみが丘校区 長廣 学
			三国校区 宮地忠広	立石校区 重松哲夫	御原校区 山下義信	味坂校区 白水祐一朗
令2	是永和一	田中恭子	小郡校区 大曲正純	大原校区 塚本良作	東野校区 山川雅子	のぞみが丘校区 酒井孝和
			三国校区 畑 憲雄	立石校区 野田英人	御原校区 永尾幸彦	味坂校区 白水祐一朗
令3	山川雅子	西村善博	小郡校区 大曲正純	大原校区 塚本良作	東野校区 重松真理子	のぞみが丘校区 酒井孝和
			三国校区 畑 憲雄	立石校区 野田英人	御原校区 永尾幸彦	味坂校区 白水祐一朗
令4	山川雅子	西村善博	小郡校区 大曲正純	大原校区 塚本良作	東野校区 重松真理子	のぞみが丘校区 酒井孝和
			三国校区 畑 憲雄	立石校区 野田英人	御原校区 永尾幸彦	味坂校区 白水祐一朗
令5	山川雅子	西村善博	小郡校区 大曲正純	大原校区	東野校区 重松真理子	のぞみが丘校区
			三国校区 村上憲太郎	立石校区 米倉政実	御原校区 柳 茂	味坂校区

## 歴代理事一覧表 (1)

	区長会	小郡市立 小学校長会	小郡市立 中学校長会	県立高校・特 別支援学校長	小郡市 小学校PTA 連絡協議会	小郡市 中学校PTA 連絡協議会	校区 指導員長	
平25		久保山京一		小川洋子		藤吉 宏		
平26			塚本桂子	鎌田哲郎	江島三紀男		長廣 学	
平27		渡邊美穂子		別府則幸		福田 司	長廣 学	
平28			矢野晴一	大久保芳隆	田籠正明		長廣 学	
平29		香田正文		大久保芳隆		木村 淳	長廣 学	
平30			工藤正則	中田雅子	鯉川武徳		長廣 学	
令元		吉岡智美		石本月洋		富永和哉		
令2			工藤正則	石本月洋	北川修一			
令3	藤井 豊	小屋松和行		青木美佳				
令4	山田敏郎		山本 拓	山口博充	半田祥一			
令5	伊藤 俊	小屋松和行		吉田雅子		北川修一		
	小郡校区 指導員	大原校区 指導員	東野校区 指導員	のぞみが丘 校区指導員	三国校区 指導員	立石校区 指導員	御原校区 指導員	味坂校区 指導員
平25								
平26								
平27								
平28								
平29								
平30	(注) 校区指導員は令和元年度から理事を兼任							
令元	野口忠弘	塚本良作	藤山龍朗	長廣 学	宮地忠広	重松哲夫	山下義信	白水祐一朗
令2	大曲正純	塚本良作	山川雅子	酒井孝和	畑 憲雄	野田英人	永尾幸彦	白水祐一朗
令3	大曲正純	塚本良作	重松真理子	酒井孝和	畑 憲雄	野田英人	永尾幸彦	白水祐一朗
令4	大曲正純	塚本良作	重松真理子	酒井孝和	畑 憲雄	野田英人	永尾幸彦	白水祐一朗
令5	大曲正純		重松真理子		村上憲太郎	米倉政実	柳 茂	
	小郡校区 青少年育成会 ／育成部会	大原校区 青少年育成会 ／育成部会	東野校区 青少年育成会 ／育成部会	のぞみが丘校区 青少年育成会 ／育成部会	三国校区 青少年育成会 ／育成部会	立石校区 青少年育成会 ／育成部会	御原校区 青少年育成会 ／育成部会	味坂校区 青少年育成会 ／育成部会
平25	佐野立美	伊藤徹一	田中敏隆	岩澤正規		柳 義親	伊藤 俊	権藤英幸
平26	見島征毅	長谷川敬二	長野政春	岩澤正規		柳 義親	橋爪 茂	末永章敏
平27	松田みつる	堀田英樹	山川雅子	光岡由紀子	小川秀樹	秋山儀一	山田 聡	廣瀬 啓
平28	松田みつる	柳 勇志	山川雅子	梅崎満晴	山川懸弘	秋山儀一	山田和成	西山健太郎
平29	山口隆浩	百瀬 誠	山川雅子	吉田祐子	山川懸弘	秋山儀一	早川聖治	権藤清英
平30	山口隆浩	宮口剛二	山川雅子	長住達樹	平安清史	大中寛敏	早川聖治	荒巻裕二
令元		山本周作	山川雅子		平安清史	大中寛敏	小田恵美	高松竜一
令2	(注) 平成25、26年度では、大原校区と東野校区は大原中校区、のぞみが丘校区と三国校区は三国中校区の理事として、それぞれ選出されている。							
令3								
令4								
令5								
令5								

## 歴代理事一覧表 (2)

	(一社)小郡市 スポーツ協会	小郡市老人 クラブ連合会	小郡市母子 寡婦福祉会	小郡市民生 委員児童委 員協議会	小郡警察署 少年補導員 連絡会	小郡保護司会	(一社)みい 青年会議所	小郡ライオ ンズクラブ		
平25	廣瀬勝栄	長谷紹男	岩橋光子	平島加代子	高浪 藏	棚町英樹	手嶋義登	田中正孝		
平26	廣瀬勝栄	藤間司朗	岩橋光子	光岡由紀子	高浪 藏	棚町英樹	手嶋義登	嘉賀和彦		
平27	廣瀬勝栄	野口憲治	岩橋光子	光岡由紀子	高浪 藏	棚町英樹	手嶋義登	嘉賀和彦		
平28	廣瀬勝栄	野口憲治	岩橋光子	光岡由紀子	永利茂信	片山秀俊	大中元樹	嘉賀和彦		
平29	廣瀬勝栄	野口憲治	岩橋光子	菊池定子	永利茂信	山下廣昭	棚町清隆	黒岩雅史		
平30	廣瀬勝栄	坂田耕三	永田のぶ江	菊池定子	永利茂信	深川博英	田代和誠	魚谷弘之		
令元	廣瀬勝栄	坂田耕三	永田のぶ江	菊池定子	永利茂信	深川博英	三原昌利	立山 稔		
令2	廣瀬勝栄	中川 茂	永田のぶ江	菊池定子	永利茂信	山川雅子	三原昌利	中村 登		
令3	廣瀬勝栄	中川 茂	永田のぶ江	黒岩千穂	永利茂信	山川雅子	千徳正晃	中村 登		
令4	廣瀬勝栄	松村光義	永田のぶ江	黒岩千穂	永利茂信	山川雅子	千徳正晃	中村 登		
令5	永利義広	松村光義	永田のぶ江	大淵富士雄	永利茂信	山川雅子	嶋田暁人	中村 登		
	小郡ロータ リークラブ	小郡市 商工会	小郡市社会 福祉協議会	小郡子ども 劇場	小郡市社会 教育委員の 会	小郡市自治 公民館連絡 協議会	おごおり 女性協議会	NPO法人 元気っ子 未来塾	アンビネット 小郡市地域 連携協議会	
平25	小野泰寿	富崎高志	佐藤吉生	松井智代子	高田末子	佐々木勉				
平26	野崎千尋	富崎高志	佐藤吉生	松井智代子	高田末子	田中晃祐	佐々木登美子	田籠弘幸	伊藤浩一	
平27	井上彰宏	富崎高志	佐藤吉生	松井智代子	高田末子	田中晃祐	佐々木登美子	田籠弘幸	伊藤浩一	
平28	井上彰宏	富崎高志	佐藤吉生	松井智代子	高田末子	赤岩康治	木下綏子	田籠弘幸	伊藤浩一	
平29	古賀大順	富崎高志	佐藤吉生	松井智代子	高田末子	赤岩康治	木下綏子	田籠弘幸	荒川秀毅	
平30	井手 浩	富崎高志	佐藤吉生	松井智代子	高田末子	井上三男	木下綏子	田籠弘幸	荒川秀毅	
令元	古賀大順	富崎高志	中島輝光	松井智代子	高田末子	野口晃裕	木下綏子	田籠弘幸	荒川秀毅	
令2	中村浩二	富崎高志	中島輝光	松井智代子	赤岩康治	野口晃裕	釘本和子	田籠弘幸	荒川秀毅	
令3	浜崎 恵	大澤靖浩	中島輝光	松井智代子	赤岩康治	野口晃裕	釘本和子	田籠弘幸		
令4	堤 正博	大澤靖浩	中島輝光	松井智代子	赤岩康治	野口晃裕	釘本和子			
令5	伊賀上政之	大澤靖浩	中島輝光	松井智代子	赤岩康治	野口晃裕				
	国際ソロブ チミスト小郡	よい映画を見 る親子の集い	小郡市花と 緑の会	小郡市議会	小郡市教育委員会		生涯学習 センター	子ども・ 健康部	子ども育成課	
平25	武田初美	中村政子	田籠貞昭		安部ミチ子	佐藤秀行	小坪 彰			
平26	武田初美	中村政子			安部ミチ子	佐藤秀行	有馬義明			
平27	武田初美	中村政子		田中雅光	安部ミチ子	佐藤秀行	有馬義明			
平28	武田初美	中村政子			安部ミチ子	山下博文	有馬義明			
平29	武田初美	中村政子				山下博文	有馬義明			
平30	武田初美	中村政子				黒岩重彦	藤本益吉			
令元	武田初美	中村政子					藤本益吉	児玉敦史	横溝聡子	
令2	武田初美	中村政子						児玉敦史	横溝聡子	
令3		中村政子						児玉敦史	横溝聡子	
令4			中村政子							
令5										

# 功 労 者 表 彰

小郡市での青少年の健全育成に関し、地域における青少年の指導育成に積極的な活動を続けて功績のあった団体、グループおよび個人を表彰するもので、平成20年度から実施しています。

## 表彰者一覧

	区分	表彰者名	推薦団体		区分	表彰者名	推薦団体
平25	表彰状	秋田宏司	三国中校区青少年育成会	令元	表彰状	井手康夫	小郡保護司会
		(故)石井一男	小郡校区青少年育成会			松田みつる	小郡校区協働のまちづくり協議会
	感謝状	佐々木富繁	大保区		長廣 学	のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会	
		羽根久雄	立石校区区長会		森山義彦	大原校区協働のまちづくり協議会	
		山下敏之	大原中校区青少年育成会		田中克幸	大原校区協働のまちづくり協議会	
		光行区秋祭り実行委員会	味坂校区青少年育成会		山田芳光	御原校区協働のまちづくり協議会	
(故)肥山 徹	小郡校区青少年育成会	児童劇団 つばさ	立石校区区長会				
平26	表彰状	岡本政隆	大原小校区青少年育成会	令2	表彰状	伊藤浩一	三国小学校区協働のまちづくり協議会
	感謝状	美山 正	立石校区区長会			大淵泰範	のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会
		羽廣長彦	小郡校区青少年育成会		近藤忠義	三国小学校区協働のまちづくり協議会	
		国際ソロプチミスト小郡	小郡母子寡婦福祉会		立石道教	三国小学校区協働のまちづくり協議会	
平27	表彰状	井戸 守	大原小校区青少年育成会	感謝状	永松孝憲	立石校区協働のまちづくり協議会	
	感謝状	棚町泰統	立石校区区長部会		大板井1区農業部会	大原校区協働のまちづくり協議会	
平28	表彰状	井上美俊	大原小学校区協働のまちづくり準備会	令3	表彰状	石橋信幸	のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会
		中村安生	小郡校区協働のまちづくり準備会			菊池定子	東野校区協働のまちづくり協議会
		山下廣昭	のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会			武下博俊	小郡警察署少年補導員連絡会
	感謝状	坂本和夫 坂本リエ子	小郡校区協働のまちづくり準備会			林 征男	立石校区協働のまちづくり協議会
平29	表彰状	天本光希雄	小郡校区協働のまちづくり準備会	令4	表彰状	平井幹子	古賀区
		佐藤真紀子	味坂校区協働のまちづくり協議会			宝城南区見守りパトロール隊	味坂校区協働のまちづくり協議会
		牛嶋勇介	小郡警察署少年補導員連絡会			森田久美子	東野校区協働のまちづくり協議会
平30	表彰状	福山正則	小郡市社会教育委員の会			森田由美子	小郡市社会教育委員の会
		棚町一司	小郡保護司会			赤岩康治	小郡市社会教育委員の会
		竹内 努	小郡保護司会			三国が丘1区子ども見守り隊	三国小学校区協働のまちづくり協議会
感謝状	原武九州男	大原校区協働のまちづくり協議会	石川由美子			小郡市民生委員児童委員協議会	
	井手清美	味坂校区協働のまちづくり協議会	黒木武志			小郡市花と緑の会	
	寺崎幹夫	味坂校区協働のまちづくり協議会	原田 強			大原校区協働のまちづくり協議会	
平30	表彰状			令5	表彰状	百瀬 誠	大原校区協働のまちづくり協議会
						楠 良司	小郡市社会教育委員の会
						米田管子	小郡市社会教育委員の会

(注) 推薦団体名は「顕彰候補推薦書」や「総会資料」による。

# 事業の紹介

## (1) オアシス運動

昭和58年から青少年の健全育成のため、市民意識向上推進と明るい家庭や地域づくりのための運動として多くの皆様と「オアシス運動」を推進してきました。その一環として、市内の小学校に「オアシス運動」標語を募集し、3,000件近くの応募作の中から優秀な標語を選定し、表彰式も行いました。

令和2年度以降、事業見直しにより標語の募集は見合わせていますが、のぼり旗を制作するとともに、朝のあいさつ・PR活動を進めています。



(各年度「オアシス運動」標語の最優秀作)



## (2) ボランティア推進活動 (ふれあいボランティアパスポート事業)

ふれあいボランティアパスポートとは、児童や生徒が自分の身近な人たちや日本・世界の人たちが困っていること、身近な地域や日本・世界の環境などの問題に気づき、自分から進んで役に立つために、学校や地域などで行ったボランティア活動を記録した手帳です。これは「認定NPO法人さわやか青少年センター」が実施主体で、市民会議では、市内の小中高校や団体の参加を促し、パスポートの回収を行っています。



(活動例)



**ふれあいボランティアパスポート (FVP)**  
 社会の身近な人たちや日本や世界の人たち、身近な地域や日本や世界の環境などの困っていることに基づいて、自分から進んで、その人たちの困窮の救済に立つために、学校や地域社会などで行うふれあいボランティア体験学習(活動)を記録する手帳です。

**活動から寄付までの流れ**

1. ボランティア活動に参加
2. 活動内容を記録
3. 記録を提出
4. 寄付金を受け取る
5. 寄付金で社会貢献活動を行う

FVP支援企業・団体等  
 一般社団法人さわやか青少年センター  
 一般社団法人さわやか青少年センター  
 URL: [www.sawayaka.or.jp](http://www.sawayaka.or.jp) (Eメール: [info@sawayaka.or.jp](mailto:info@sawayaka.or.jp))

発行: さわやか青少年センター  
 発行日: 令和3年10月1日  
 発行所: 小郡市青少年育成市民会議

**「ふれあいボランティアパスポート」**  
 "Fureai" Volunteer Passport

## (3) 子ども安心安全見守り活動 (「こども110番の家」運動)

**こども110番の家**

学校の行き帰りや遊んでいるとき、「心配だな」や「危険だな」と思ったら、大声をだしてすぐに「こども110番の家」にげこみましょう。「こども110番の家」には、黄色い旗がかかげられています。

**こども110番の家**

小郡市青少年育成市民会議  
 小郡市教育委員会  
 小郡警察署

身のまわりに危険を感じたら

知らない人についていかない  
 知らない人の車にのらない

**いかにすし** おおこえをだす  
 すくにげる  
 大人に知らせる

小郡市青少年育成市民会議 おおひらけいしやうねんいくせいしんかいぎ

【保護者のみなさまへ】小郡市青少年育成市民会議では、各校区の協働の仕組みづくり協議会やPTAなどの地域の皆さまと協力して子どもを守る「子ども安心安全活動」を進めています。保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

「こども110番の家」運動とは、子どもが危険な目にあったり、声かけ・ちかん・つきまとい行為の被害などを受けたりしたときに、避難してきた子どもを一時的に保護し、警察等に連絡するボランティア活動です。市民会議では校区や事業所・企業などからの要望に応じて、避難場所の目印となる「こども110番の家」運動の旗等を提供しています。旗等のデザインは令和2年度に、一新しました。

また、令和3年度以降、「こども110番の家」運動のチラシを小学生に配布するとともに、避難場所としてではなく、見守り活動の一環である「こども安心見守り隊」ステッカーを追加・配布し、地域での協力を要請しています。





## (4) 0歳期教育推進

人間の「基礎づくり」の最も重要な時期は胎児期・乳幼児期といわれています。この時期を0歳期と呼び、0歳期教育のあり方について、大人が学び、子育てについての認識を深めることは大切だと考え小郡市内の関係団体と連携しながら学び場づくりをしてきました。

なお、令和2年度以降は事業見直しにより、活動を見合わせています。



織姫☆彗星キャンパス

### 食育講演会

# 子どもが作る 弁当の日



**日時：平成30年9月8日(土)**  
**時間：午前10～12時**  
**(受付9:30～)**  
**場所：小郡市生涯学習センター**  
**セタホール(入場無料)**



**【講師】**  
**稲益 義宏さん**

**【講師プロフィール】**  
 熊本県流尾市出身  
 東京学芸大学卒  
 現在、福岡市立舞鶴中学校教諭

「食」の学習に力を入れるきっかけになったのは、西日本新聞の連載「食卓の向こう側」。そこで出会ったのが、「お弁当の日」の実践。しかし、実施へ向けてのハードルは高く、できる方法を試行錯誤した結果・・・

**託児あり** (無料・要予約)

**【お申込み・問合せ】**  
 小郡市子ども育成課(市役所北別館1階)  
 TEL: 0942-72-2111(内線678)  
 FAX: 0942-72-7481  
 E-mail: syogai-katei@san.bbq.jp

託児を希望される方は事前に申し込みが必要です。9月4日(火)までにお申込ください。お子様のお名前、性別、年齢(月齢)および保護者のお名前、住所、電話番号をご記入の上、子ども育成課窓口、FAX、メールにてお申込ください。  
 ※託児は首がすわってから来館学習までとなります

主催：小郡市青少年育成市民会議 小郡市子ども育成課 家庭教育学級

### 【参加者の声】

- ・ 託児支援ベビーマッサージや体操教室などの講習会。0歳期の子どもがいるのでとても参考になりました。早速実践してみます。
- ・ 今回のお話でスキンシップの大切さを改めて感じ、家に帰ってからまたいっぱいぎゅーっとしたいと思います。
- ・ 日頃の自分の育児をふりかえる機会になると同時に、これからも親子の絆づくりを大切にしようという意識づけになりました。具体的でとても参考になり良かったです。
- ・ 大変参考になりました。しっかりと絆をきずけるようにしたいと思います。このような研修会をまた頻繁に開催していただきたいです。

## (5) おごおりっ子からのメッセージ

次代の郷土を担う子どもたちが、心身ともにたくましく、心豊かに成長できることを願い、平成4年度から青少年の主張大会「おごおりっ子からのメッセージ」を開催しています。

大人や社会に対して訴えたいこと、日常生活の中で感じていること、学校や家で挑戦していることなどを、自分の生き方を通して発表し、またそれを聞いた同世代の青少年が社会の一員としての自覚を高めることを期待するものです。あわせて、子どもたちの健やかな成長のために、大人も理解を深め、実践していくことを目的としています。なお、大会の開催後に、メッセージを掲載した文集を作成・刊行しています。



(令和3、4年度  
発表者の一部)



### 令和4年度 おごおりっ子からの メッセージ文集



日時: 令和4年11月5日(土)

14時開会

会場: 小郡市文化会館大ホール

小郡市青少年育成市民会議

## (6) 花いっぱい運動

花いっぱいの小郡市をめざし、平成元年度より取り組みました。令和2年度以降、市内の希望される小中学校、高校、特別支援学校、幼稚園、保育所、保育園、校区協働のまちづくり協議会などに花苗購入のための助成金をお渡ししています。市内が美しく花で彩られているのは子どもにとっても大人にとっても心が和む環境であると思います。



### 【参加者の声】

- 保育所の園庭に飾るプランターの花を子どもたちと植え、一緒に草取りや水やりをしながら、花の生長を楽しんだり、種類、形、名前の違いに気づき、植物に親しみを持てるよう取り組んでいます。
- たくさんのチューリップの球根を購入できたので、全員が植えることができました。年少組の子どもたちは、初めての球根植えに、おおはしゃぎでした。
- 保育室前のフェンスに沿って植え、花壇にも植えました。春に子どもたちを迎え入れるチューリップの花が咲くのが楽しみです。
- 花壇づくりを始めるきっかけは、高齢化が進み、菜園を放置する方が多くなり、このままでは雑草に覆われますので、ここに花壇をつくることにし、子供会に呼びかけました。

## (7) ジュニアリーダー研修会

ジュニアリーダー研修会は、野外での自然体験活動が青少年の健全育成に有効という理念のもと、参加児童が、冒険を伴った活動に挑戦し、「自信」をつけることを目的としたものです。夏季と冬季があり、とりわけ、夏季では、参加児童の事前研修会などを踏まえた上で、宿泊研修会として実施していました。なお、事業見直しにより、令和3年度以降の開催を見合わせています。（※より幅広い児童の参加を促すために、令和3年度より、ジュニア研修会に転換しています。）

### 夏 季

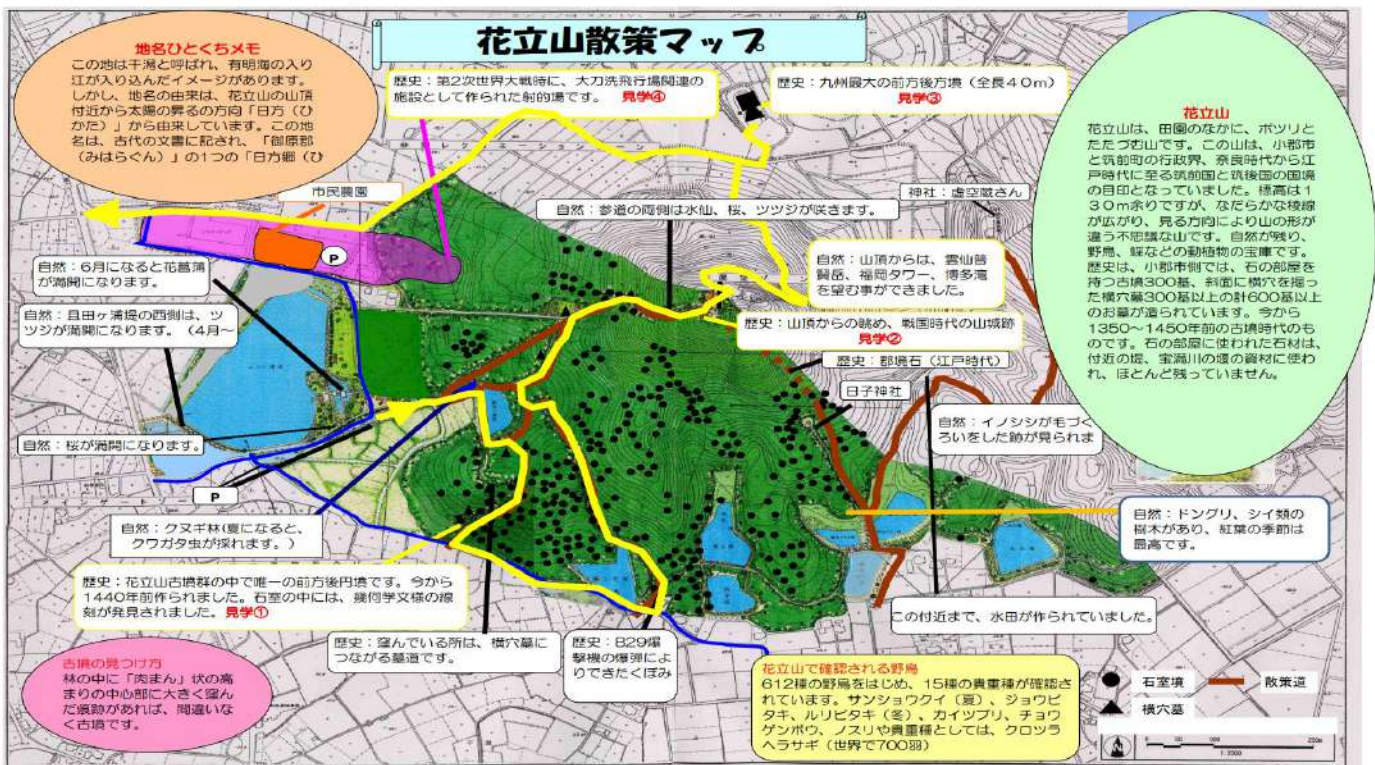


#### 【参加者の声】

- たくさんの人達と集団生活をおくってみて、時間を守る大切さやあいさつの大切さを学べてよかったですと思いました。また参加したいです。
- ジュニアリーダー研修に参加して、本当のジュニアリーダーとは何かをしっかりと考えて行動することができました。スタッフや高校生ボランティア、たくさんの方の支えがあったからだと思います。なによりお母さんやお父さんが応募してくれたおかげで、たくさん学ぶことができました。
- 知らない人と友達になれて、とてもうれしかったです。



# 冬 季



## 【参加者の声】

- 知らない人と同じグループになったけど、気付いたら話せるようになっていて楽しかった。
- 城山城の古墳など見たことがないものがたくさん見れて楽しかった。
- けっこう歩いたりして疲れたけど、楽しかった。
- 登山がきつかったけど、最後まで登った時は達成感があって登って良かったと思った。
- 自然とふれあえたのでよかった。
- 作った巣箱に鳥が来てほしいと思った。



## (8) ジュニア研修会

ジュニア研修会は、令和3年度以降、夏季、冬季の2回、開催しています。これは、市内の子どもたちが学校間交流を通して、自主性や他者を受け入れる力を育み、自分の思いを伝える力としてのコミュニケーション力を養うとともに、郷土の自然・歴史・文化・産業などを知り、郷土愛を深めることを目的に小郡市との共催で実施しています。

### 夏 季



#### 【参加者の声】

- 最初に練習でえんぴつを初めてといただけれど、少し固くて難しかったです。次に竹でナイフを作るときは、もっと難しかったし、すごく固くてぜんぜんとぐことができませんでした。けれど班の人たちと仲よくすることができたのでここに参加してよかったです。
- アイスウォーム（カモフラージュ）では、みんなと協力し、たくさん見つけることができました。おかし作り体験では、みんなと教えあい、おいしいデコレーションケーキを作れました。この研修会を通して、みんなと仲良くなれた気がします。
- 今日の防災や災害のことについて、くわしく説明してくれたり、カレーを班のみんなやボランティアの方たちといろいろ協力しながら作ることが一番楽しかったです。また、みんなと協力しながら何にでもチャレンジしてみたいと思いました

## 冬 季



### 【参加者の声】

- 土器づくりをして、ひびが入ったりして難しかったけど、マグカップができたから良かった。火起こし体験もして、火はつかなかったけど、熱くなった。うでがいたくなった。土器作りで昔の人はたいへんだなと思いました。
- ジュニア研修会に参加するのは2回目だったけど、1回目と違ったことをしたので楽しかったです。ふるさと小郡の各校区のところもクイズ形式だったのでとても楽しくできました。土器づくりは初めてでしたが、一人ひとり違った土器が作れて良かったです。
- 今日初めて苗木を作りました。ぼくは、はじめ苗木を作るといってもあまり立派なものじゃないかなと思いつつ、苗木をつくと、すごく立派だったので、すごいなと思いました。
- 小郡の農業すごろくでは、見たことないようなオリジナルのすごろくだったことがおもしろかったし、アイデアがすごくいいと思いました。またこのような機会があったら参加させてもらいたいです。
- 最初はなじめるか不安だったけど、時間がたつにつれてなじめてきて、最後には写真もとるほど仲良くなれて良かったです。農業のお話も学校で習った以上に教えてもらって、ごはんを一口ふやそうと決めました。今日はすごく楽しかったです。次の夏もまたやりたいです。
- 今日、農業と食料についての講話をしっかりと聞き取り、小郡市内の学校の友達と一緒にスイートポテトをおいしく食べたり、豚汁や筑前煮を楽しく作ることができたのでとても楽しかったです。



## (9) 親子体験活動

この活動は令和3年度から始めたもので、作物（ジャガイモやサツマイモ等）の植え付けから草取り、収穫までを体験することで、作物の生育に必要なことを学ぶことを目的としています。たとえ収穫量が少なかったり、形の悪い収穫物であったりしても、意味があることを学ぶ体験活動です。



### 【参加者の声】

- みんなで植えた一つの種から、立派なじゃがいもやとうもろこしが育ち、スーパーで売っている野菜しか知らない娘に、いい経験をさせてやれたなと思います。畑の管理をされていた方々に、美味しい野菜を見守っていただき本当に感謝です。
- 初めは、汚れるのを嫌がった子どもたちも、大きなジャガイモが土から出てくると大興奮でした！早速、皮のまま素揚げにして子ども達が大好きなポテトフライにし、みんなで美味しくいただきました。

### 【事務局スタッフより】

親子体験活動は、農作物を育て収穫し食べることを通じて、収穫や食べることの楽しみ・喜びを味わっていただくとともに、農作物を育てる手間や難しさを実感していただければと考え企画した事業です。参加者のコメントを読むとある程度それが伝わったようです。今後の展開に向けて、農作物の栽培についてスタッフ自身ももっと勉強する必要があるようにも思います。また、寒い中や暑い中、種まきや苗の植付け、草取りにご参加くださった皆様に感謝申し上げます。



# 40周年記念大会

令和5年11月5日、小郡市文化会館大ホールで開催しました。本大会において380名もの方々にご参加いただき、設立40周年の節目の行事を開催することができたことに感謝いたします。これからの新しい活動展開に向けての思いを強くすることができました。これからも皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 【第1部：記念式典】

市長、県議会議員、教育長、市議会議員、元会長にもご臨席いただき、参加者の皆様とこれまでの活動を振り返り、これからの展望について考える式典を行いました。

## 【第2部：アトラクション】

小郡校区で受け継がれている小郡祇園太鼓保存育成会の演奏では、法被姿の生き生きとした子どもたちがジャンガラと力強い太鼓の音を響かせていました。

三国中学校吹奏楽部は約60名の部員で構成され、その演奏はとても迫力のある素敵なもので、会場からも大きな拍手が湧き上がっていました。



**【第3部：おごおりっ子からのメッセージ】**

小学生から高校生まで各校1名の代表が、今考えている思いを堂々とメッセージで訴えていました。深く考えさせられる内容が多く、素晴らしい発表でした。夏季ジュニア研修会に参加した子どもたちのうち3名が体験を通して感じたこと、学んだことを発表しました。子どもたちそれぞれのメッセージをしっかりと受け止めていきたいものです。

～発表者のみなさん、感動をありがとう～







令和2年3月1日号

# 小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」

第3号

2020年3月1日発行  
発行所：小郡市青少年育成市民会議事務局  
小郡市本町2-20-1（新小郡駅前）  
0943-72-2311（FAX）0943-72-2312  
0943-72-2313

## みんなでふるさとの山「花立山」をPRしよう 「冬季ジュニアリーダー研修会」を開催しました



令和元年12月1日、小郡市平瀬の花立山において、「冬季ジュニアリーダー研修会」を開催しました。参加者は市内の小学4～6年生26人。研修では、子どもたちに里山の良さを知り、郷土に愛着を持ってもらうことを目的に、「花立山PR大作戦」と題し、花立山を散策し、観光用のPR看板づくりに取り組みました。

午前中は花立山の登山ルートを講師から山の歴史や自然について話を聞きながら歩き、山の良い点や改善点を見つける作業を行いました。

その後、総合福祉センターあすてらすに移動して、午前中の散策で各々が気づき感じたことをもとに、看板をデザインしました。

発表では子どもたちから「花立山に登って楽しかったので、みんなに知って欲しい」山登りが楽しめ

るように登山口にクイズを置いて、山頂に答を置いたらどうか」「ごみが気になった」など様々な意見があがり、行先案内板や山に関するクイズ、ゴミの投げ捨て禁止や外国人向けに英語の看板など、アイデアあふれる作品が披露されました。また、散策コースをいくつも考えたり、花立山のイメージキャラクターを作る子もいて、花立山の自然体験が子どもたちの想像力をかきたて、故郷の山に愛着を感じさせたようでした。

この日作られたデザインは、地元「花立山を楽しむ会」により看板にされて、3月15日に花立山に設置される予定です。

自分たちの目で見えて触れて、学び、考え、表現する。市民会議は、子どもたちの成長に欠かせないこうした体験の場を提供することで、未来を担う小郡市の青少年健全育成を支援しています。



▲講師の話を聞きながら花立山を散策 ▲園に分かれてアイデアを話し合う ▲壁の前で作成した看板について説明

## 令和元年度 校区実践発表会

御原校区協働のまちづくり協議会「あの時の事故を忘れない」



2月1日、生涯学習センター七夕ホールにおいて、「令和元年度 校区実践発表会」が開催され、会場を埋めつくす200人を超える参加者で、熱気あふれる発表会となりました。

毎年行われている「校区実践発表会」は、青少年育成事業を行う市内8校区から1校区に活動内容を発表してもらい、それぞれの地域の特徴ある活動を知る貴重な場になっています。

今年度の発表は、御原校区協働のまちづくり協議会の宝満川の遊泳禁止啓発看板の設置事業報告で、演題は「あの時の事故を忘れない」。

昨年5月、宝満川において遊んでいた児童が溺れて亡くなる事故が発生しました。御原校区ではそのような痛ましい事故を二度と起こさないと、7月、遊泳禁止啓発看板の設置に向けた取り組みを始めました。

本事業では、御原校区まち協と市議会議員、遺族が協力し、看板の設置場所の選定や河川管理者の許可申請、看板のデザイン決めや寄附金を募るなど、

多くの行程を経て、今年2月に宝満川沿い4カ所の啓発看板設置が実現しました。

発表では亡くなった児童の遺族より、「この事故を身近に経験した子どもは、自分の子や孫に川の危険性を伝えると思うが、将来この事故が忘れられた時、また子どもたちが川を遊び場にするかもしれない。その時この看板を見て事故を思い出し、川で遊んだら危ないと再認識してもらおうことが目的です。」と語られました。また、「このような事故で、大切な人を失う悲しみを他に味わって欲しくない。安全で安心して暮らせるまち小郡となるよう、皆が協働して自分たちの地域は自分たちで作るとの思いのもと、まちづくりを進めましょう」との呼びかけがありました。

子どもたちを事故から守るため御原校区の地域一体となった取り組みと、深い悲しみの中にもありながらも遺族の勇気ある真摯な呼びかけに、会場からは、惜しみない拍手が送られました。



▲啓発看板 ▲宝満川沿いの看板の設置場所4カ所

## 講演報告「地域で子育てを」講師 大分県佐伯市鷹屋神社宮司 矢野大和さん



▲講師 矢野大和さん

校区実践発表会では御原校区の発表に続き、矢野大和さんの講演があり、落語が得意な矢野さんの軽妙な語り口に笑いが出る中、大人が子どもに与えるべき生き方とは何かについて学びました。

講演では、矢野さんの地元落語の通学路で小学生が高齢者から伝統芸能やコミュニケーションを学び、高齢者は子どもの役に立つことで生き生きと過ごす様子が紹介されました。

高齢化問題は、高齢者が増えたからではなく子どもが減ったことが問題で、子どもを増やすためには安心して子育てできる地域づくりが大切。皆が得意分野を生かして、人がつながる地域をつくろうとのことでした。

令和3年10月31日号

# 小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」

2021年10月31日発行  
発行所：小郡市青少年育成市民会議事務局  
小郡市本町2-20-1（新小郡駅前）  
0943-72-2311（FAX）0943-72-2312  
0943-72-2313

## 今年度は5つの部会を設置し、事業展開に向けての検討を行っています

部会	主な担当事業	今年度の取組み状況
研修	通常総会（総会の運営をサポート）	今年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面表決に代えています（4月28日～5月12日）。
	指導者育成研修	部会員等の大人が楽しめる企画を検討中です。なお、福岡県「令和3年度少年団体指導者研修会・ブレイクリーダー研修2級」への参加の呼びかけを決定していましたが、感染症拡大防止のため中止となりました。
	県民会議筑後北地区研修大会	今年度は、当市民会議主催で開催（令和4年2月27日）しますので、大会の構成を検討中です。
環境	花いっぱい運動 子ども安心安全見守り活動	花いっぱい運動は、前年度と同様に市内小中学校、幼稚園・保育所等を対象に助成金制度（申込み期間は7月12日～11月30日）として実施しています。 「子ども110番の家」運動のチラシを市内の小學生に配付（6月中旬～7月下旬）するとともに、「子ども安心見守り隊」ステッカーの配付を検討中です。なお、この事業は共同募金配分金の助成をもとに実施します。
育成	夏季ジュニア研修会	古代筑後の大地震に関する学習と花立山の竹を使った「バターナイフづくり」を実施しました（8月1日）。なお7月27日に、部会で事前研修を行っています。
	冬季ジュニア研修会	小郡の地域の特徴を学び、土づくりなどを体験する研修会（11月28日）を計画中です。
広報・渉外	おごりっ子からのメッセージ	小郡市内の中・高校生、夏季ジュニア研修会参加者の思いや願いを広く社会に訴える、青少年の主張大会（11月7日）を計画中です。
	賛助金依頼	9月30日現在、1,226,200円の賛助金が集まっています。皆様のご協力に感謝いたします。
事業検討	市民会議だよりの発行・ホームページ更新	今年度は2回の市民会議だよりを発行します。
	ボランティア推進	ボランティア推進の一環として「ふれあいボランティアパスポート」事業を実施しています。
	事業検討	事業展開の前提として組織のあり方等について意見交換を行っています。

## 功労者表彰(1)

市民会議では、多年にわたり青少年の健全育成活動に尽力されている方々に対して例年、通常総会場で表彰を行っています。今年度は、総会を対面で開催できなかったため、9月30日までに、校区コミュニティセンター等で4名の個人、1団体の表彰式を実施しています。



石倉幸彦様（のぞみが丘校区）



平井幹子様（古賀区）



玉城南区見守りパトロール隊様（味原校区）



竹内勇輝（前会長） 藤倉定子様（東野校区）

## 「夏季ジュニア研修会」を実施しました



この研修会は、「小郡市内のいろいろな校区の子ども達が交流を通して、自主性や他者を受け入れる力を育み、自分の思いを伝える力としてのコミュニケーション力を養う。また、郷土について知ることで郷土愛を深める」ことを目的に、小学生27名、スタッフ等16名で8月1日に実施しました。「竹バターナイフ作りが楽しかった」「小郡の話聞いて、たくさんことを知った」などの感想がありました。



## 「ふれあいボランティアパスポート」事業を実施中です

市民会議では、平成26年度よりボランティア活動を推進するため、「ふれあいボランティアパスポート」を配付しています。

今年度は、7月中旬に市内小中学校等に3,880冊配付し、9月上旬に校区コミュニティセンターに400冊追加配付しました。

今後ますます取組が浸透して小郡にボランティアの精神が根付いていくことを願っています。



# 小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」

2022年1月31日発行  
発行所 小郡市青少年育成市民会議  
住所 小郡市小郡 238-1  
094-727-1194  
FAX 094-727-1194

## コロナ感染予防対策も考えながら、工夫して活動しています！

部会	主な担当事業	今年度の取組み状況
研修	通常総会（総会の運営をサポート）	今年度の通常総会は、書面表決（4月28日～5月12日）として実施しました。3月以降、役員・理事・代表員の交代など、来年度総会の準備をしています。
	指導者育成研修	福岡県「令和3年度少年団指導者研修会・ブレイクリーダー研修2級」は中止となり、参加の呼びかけ等については、来年度以降の課題となりました。
	親子食育体験	2月11日（金）に、西鉄味坂駅付近の畑で、「じゃがいも」と「とうもろこし」の植付けを実施する予定です。収穫は6月を予定しています。
環境	花いっぱい運動	当市民会議主催で2月27日（日）、小郡市文化会館大ホールで開催いたします。多数の皆様のご来場をお待ちしております。理事・代表員の方々もぜひご参加ください。（プログラム等については最後のページをご参照ください）
	子ども安心安全見守り活動	「子ども110番の家」運動のチラシを小学生に配布（6月中旬～7月下旬）し、「子ども安心見守り隊」ステッカーの配布を準備中です。各校区で見守り活動に取り組んでいます。ステッカーの印刷は共同募金配分金の助成を受けています。
育成	夏季ジュニア研修会	古代筑後の大地震に関する学習と花立山の竹を使った（バナナナイフづくり）を実施しました（8月1日）。参加者はスタッフを含め43名で、とても好評でした。現在、来年度の企画を検討中です。
	冬季ジュニア研修会	小郡の地域の特色を学び、土器づくりなどを体験する研修会（11月28日）を実施しました。参加者はスタッフを含め40名となりました。この企画もとても好評で、現在、来年度の企画を検討中です。
	おごおりっ子からのメッセージ	小郡市内の中・高校生、夏季ジュニア研修会参加者の思いや願いを広く社会に訴える、青少年の主眼大会（11月7日）を実施しました。参加者はスタッフを含め、115名となりました。小学校代表を含めたメッセージ文集を作成・配布の予定です。来年度は小学校代表を加えた大会として開催できることを願っています。
	奨励金依頼	12月末までに、1,228,200円の奨励金が集まりました。ありがとうございます。現在、部会で、奨励金を増やす方法を検討中です。
広報・渉外	市民会議だよりの発行・ホームページの更新	今年度は2回の市民会議だよりを発行しました。来年度も、2回の発行を予定しています。現在、ホームページの改善に取り組んでいます。
	ボランティア推進	ボランティア推進の一環として「ふれあいボランティアパスポート」事業を実施しています。小郡市内にボランティア活動がもっと根付くことを願っています。
事業検討	事業検討	事業展開の前提として、事業内容と組織のあり方等について意見交換を行い、理事会に提案し、検討を続けています。

### 「おごおりっ子からのメッセージ」を開催しました

11月7日、小郡市文化会館大ホールで10名の方強い主張を聴くことができました。

メッセージは、コロナ禍でのコミュニケーションの取り方、環境・貧困問題、命と食、家族の意味、AI、これからの進路、夏季ジュニア研修会を振り返って考えたことなど、多岐にわたるものでした。

どれも胸に迫る、考えさせられる内容になっていました。

発表者の皆さんは今回の発表での気づきを大切にしながら成長してほしいと思います。

**おごおりっ子からのメッセージ**

- 三國中・小| 辻田さん 「見つけようコミュニケーション」
- 立石中・福永実由さん 「私たちに出来ること」
- 大原中・向井咲穂さん 「食べる」
- 小郡中・小松原圭太さん 「家族への思い」
- 玉城中・田中友菜さん 「大切にしなければいけないもの」
- 小郡特別支援学校・黒石大地さん 「自分のハードルを高く跳び越えて」
- 小郡高・坂田翔真さん 「夢を叶えるために」
- 東野小・洞上颯太さん 「ジュニア研修会に参加して」
- 東野小・古川聡太さん 「ほくの「小郡市」」
- 小郡小・矢野穂多さん 「夏季ジュニア研修会をとおして」

### 花いっぱい運動

助成の申し込みがあった団体は以下のとおりです。

御原保育所、大崎保育所、味坂保育園、城山保育園、みずす保育園、のびっこ園、小郡幼稚園、小郡力トリック幼稚園、小郡学園小、小郡小、三国小、味坂小、御原小、立石中、宝城中、三井高、小郡高、立石校区まち協、宝城中まち協、緑区アンビシャス広場

右はこれまでにいただいた報告書のなかから、団体の活動状況を示したものです。花いっぱい運動の小郡市になってほしいです。

# 小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」

2022年8月31日発行  
発行所 小郡市青少年育成市民会議  
住所 小郡市小郡 238-1  
094-727-1194  
FAX 094-727-1194

## 総会(5月14日)で、今年度事業の方針が承認されました

部会	主な担当事業	今年度の取組み状況
研修	通常総会（総会の運営をサポート）	今年度の通常総会（5月14日）は対面で実施しました。スタッフを含む参加者は105名でした。
	指導者育成研修	令和4年度少年団指導者研修会・ブレイクリーダー研修2級（6月19日）に指導員1名が参加しました。そのほか、市町村民会議等合同研修会（令和5年3月）への参加を計画しています。
	親子体験活動	前年度からの継続事業として、ジャガイモ、トウモロコシの収穫を実施しました。そのほかの事業は部会で検討の予定です。
環境	花いっぱい運動	花いっぱい運動は前年度と同様に市内小中学校、幼稚園・保育所等を対象に助成金制度（申込み期間は6月17日～10月31日）として実施しています。これに加えて、今年度は花の埋め込みのプレゼントを計画しています。
	PR活動	あいさつや清掃活動を通して市民会議のPR活動に取り組んでいます。6月以降、月1回、第1次曜日に可能な限り、実施していきます。
育成	ボランティア推進	ボランティア推進の一環として「ふれあいボランティアパスポート」事業を実施しています。今年度は市内小中学校等に約3600冊配付しました。
	夏季ジュニア研修会	小郡市の企業を学ぶとともに、お菓子作りを体験しました（7月31日）。スタッフを含む参加者は41名でした。なお部会で事前研修を行っています。
	冬季ジュニア研修会	小郡市生涯文化財調査センターでの開催（11月27日）を予定しています。
	おごおりっ子からのメッセージ	小郡市文化会館大ホールでの開催（11月5日）を予定しています。
広報・渉外	子ども安心安全見守り活動	「子ども110番の家」運動のチラシを8月以降に、市内の小・中学生に配布するとともに、「子ども安心見守り隊」ステッカーを配布する予定です。なお、ステッカーの配布は共同募金配分金の助成によるものです。
	奨励金依頼	7月31日現在、870,800円の奨励金が集まっています。皆様のご協力に感謝いたします。
事業検討	市民会議だよりの発行・ホームページ更新	今年度は市民会議だよりを2回発行します。これは、共同募金配分金の助成によるものです。
	40周年記念事業	市民会議の40周年（来年度）を記念して、記念事業をどのような場、内容で実施するかを検討しています。
事業検討	組織整備	事業展開の前提として組織のあり方等について意見交換を行う予定です。

### 功労者表彰

市民会議では、多年にわたり青少年の健全育成活動に尽力されている方々に対して例年、通常総会の場で表彰を行っています。今年度は7個人、1回体を表彰しました。なお、右は総会で表彰者を表彰して授けられる三國が丘区子ども見守り隊の田中様です。

高倉 市長、市岩 副市長、三國が丘1区 子ども見守り隊長、石川 区長、原田 区長、百瀬 区長、小島 区副会長

市民会議では、多年にわたり青少年の健全育成活動に尽力されている方々に対して例年、通常総会の場で表彰を行っています。今年度は7個人、1回体を表彰しました。なお、右は総会で表彰者を表彰して授けられる三國が丘区子ども見守り隊の田中様です。

藤田 区副会長、藤田 区副会長

### 「親子体験活動」を実施しました

本事業は、6月に収穫する「トウモロコシ」「ジャガイモ」の種まき・植え付けから草取り、収穫までを親子・家族と一緒に体験するという目的で実施したものです。2月11日に、種まき・植え付けを行い、市民会議スタッフが5月7日に草取りをしました。6月4日・5日にジャガイモを収穫し、6月11日～18日にトウモロコシを収穫しました。さらに環境課のご厚意により、ビニールハウスのトウモロコシを7月3日に配付しました。

2月11日、種まき・植え付け

5月7日、草取り

6月4日・5日、ジャガイモの収穫

6月11日～18日、トウモロコシの収穫

7月3日、トウモロコシの配付

環境課のご厚意により、ビニールハウスのトウモロコシを7月3日に配付しました。

### 「ふれあいボランティアパスポート」事業を実施中です

市民会議では、平成26年度よりボランティア活動を推進するため、「ふれあいボランティアパスポート」を配付しています。

昨年度は428冊を配付し1411枚の感想の回収となりました。

今年度は、6月中旬に市内小中学校等に約3600冊配付しましたが、昨年度以上の回収を期待しています。

今後ますます取組が活発し、小郡市ボランティア精神が浸透していく一助となることを願っています。

令和5年1月31日号

**小郡市青少年育成市民会議だより**  
 「大人が変われば、子どもも変わる」 2023年1月31日発行

発行所 小郡市青少年育成市民会議  
 住 所 小郡市小郡255-1 小郡市役所内  
 電話 070-2371-1184

**今年度の活動状況**

- ①花いっぱい運動（6月～10月募集、3月までに報告書を受け取る予定）
- ②夏季・冬季ジュニア研修会（7月31日、11月27日に開催）。なお、夏季ジュニア研修会は、会場を生徒学習センターから「あすてらす」に変更しました。
- ③指導者育成研修（福岡県ブレイリーリーダー研修2級への参加（6月））
- ④おごりっ子からのメッセージ（小中高校・小郡特別支援学校の代表者および夏季ジュニア研修会参加者による主張大会で11月5日に開催）
- ⑤ボランティア推進活動（ボランティアパスポートの配付（6月）と結果のとりまとめ（1月）を予定）
- ⑥子ども安心安全見守り活動（「こども110番の家」運動チラシを小学校新入生に配布（7月～8月）、「こども110番の家」運動の旗等の補充を準備中、「こども安心見守り隊」ステッカーの配付を準備中）
- ⑦広報活動（「市民会議だより」を年度内に2回発行。1回は8月に、幼稚園・保育所の園児、小中学校の児童・生徒に配布し、2回は2月に市内全戸配布を予定）
- ⑧以上の諸事業を実施するための方針を策定するために、今年度は、年末までに、役員会1回、理事会5回、指導委員会1回、部会（環境、研修、育成、広報・渉外、卒業検校の各部会）を11回開催し、2月～3月も開催を予定しています。

**賛助金のお願い**

賛助金は12月末現在、1,033,800円に達していますが、予算額に約20万円不足しております。ぜひ市民会議活動にご賛同いただき、賛助金をいただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。

1. 賛助金の納入方法
  - ①市役所にご用件がある場合など、ご都合がよければ、小郡市青少年育成市民会議事務局（市役所北別館1階子ども育成課内）にご持参ください。
  - ②お振込みの場合の振込先：西日本シティ銀行小郡支店（普通預金）1477389  
 小郡市青少年育成市民会議（オコリシセイシヨウイクセイシミンカイギ）  
 会長 森 勝則 カイチヨウ モリカツノリ
  - ③ご持参やお振込みでは不都合な場合は、市民会議事務局にご連絡ください。いたゞきに伺います。
2. 賛助金：個人 1口 100円、団体 1口 2,000円
3. 問合せ先：小郡市青少年育成市民会議事務局 担当：西村、電話：070-2371-1184



**こども安心安全見守り活動**  
 今年度も、防犯ステッカーなどを配付の予定です。このステッカーは犯罪の抑止力として、その効果を期待しています。これは社会福祉協議会の共同募金配分金の助成をいたゞいて実施するものです。



**朝のあいさつ・PR活動**  
 6月から、特段の事情がない限り、毎月第1火曜日の朝7時45分から30分、西鉄小郡駅前、あいさつ・PR活動を行っています。12月まで4回、元気のよい返事が返ってくるのですが、うれしい気持ちになります。

**夏季ジュニア研修会**

市内小学校間の児童の交流、小郡の企業について学ぶ、お菓子作り体験を目的に、7月31日に、「あすてらす」で開催。スタッフを含む参加者は44名。松本浩様（レープ・ド・ペペ）のご指導を受け、小郡の企業について学び、交流を深めました。ありがとうございました。



カモフラージュ（人工物を探すゲーム） お菓子（ケーキ）作り体験



**冬季ジュニア研修会**

市内小学校間の児童の交流、小郡の農業について学ぶ、緑育体験（苗木づくり）を目的に、11月27日、小郡市埋蔵文化財調査センターで開催。スタッフを含む参加者は44名。久光嘉徳様（久光農園）のご指導を受け、小郡の農業について考えを深めることができました。ありがとうございました。



令和5年8月31日号

**小郡市青少年育成市民会議だより**  
 「大人が変われば、子どもも変わる」 2023年8月31日発行

発行所 小郡市青少年育成市民会議  
 住 所 小郡市小郡 255-1 小郡市役所内  
 電話 070-2371-1184

**今年度の主な取組み**

- ①指導者育成研修：令和5年度青少年団体指導者研修会・ブレイリーリーダー研修2級（6月25日）に市民会議の指導員2名が参加。その他、市町村市民会議等合同研修会への参加を計画しています。
- ②親子体験活動：前年度からの継続事業としてジャガイモの収穫（5月27日～6月4日）を実施。今年度は、サツマイモとジャガイモの植付け（6月24日、8月19日）を行い、11月に収穫を予定しています。
- ③花いっぱい運動：前年度と同様に市内小中学校・幼稚園・保育所等を対象に助成金制度（申し込み期間は6月15日～10月31日）として実施。
- ④ボランティア推進：「ふれあいボランティアパスポート」事業を実施。今年度は市内の小中高校等から3473冊の申込みがありました。
- ⑤夏季ジュニア研修会：小郡市の防災について学ぶとともに、カレー作りを体験しました（7月29日東野校区コミュニティセンター）。
- ⑥冬季ジュニア研修会：生徒学習センターでの開催（11月25日）を予定しています。
- ⑦おごりっ子からのメッセージ：小郡市文化会館大ホールでの開催（11月5日）を予定。今年度は共同募金配分金の助成を受けるとともに、市民会議40周年記念事業の一環として実施します。
- ⑧子ども安心安全見守り活動：「こども110番の家」運動のチラシを市内の小学1年生に配付するとともに、「こども110番の家」運動の旗等を補充する予定です。
- ⑨広報活動：今年度は共同募金配分金の助成により、「市民会議だより」（2回）と「活動報告書」の発行を予定しています。
- ⑩市民会議40周年記念事業：市民会議の40周年を記念して、記念誌の刊行や記念行事を実施する予定です。
- ⑪賛助金依頼：8月8日現在、969,700円の賛助金が集まっています。皆様方の御協力に感謝いたします。

**功労者表彰**

市民会議では、多年にわたり青少年の健全育成活動に尽力されている方々に対して例年、通常総会の場で表彰を行っています。今年度は10個人を表彰しました（5月28日、生徒学習センター）。当日は、米田智子様、野田英人様、水尾幸彦様、白水裕一郎様は欠席されています。



橋 良司様 中村敦子様 森 尚則様 井上真嗣様 工藤会長 横尾昌義 塚本良作様 畑 恵穂様 酒井幸和様

**親子体験活動**

**前年度からの継続事業**

これはジャガイモの種まき・植付けから草取り、収穫までを親子・家族で一緒に体験するという目的で実施したものです。2月25・27日に植付けを行い、5月27日～6月4日に収穫しました。



寒さがまだ厳しい中での植付け

希望の収穫

**今年度の事業**

ジャガイモの収穫後、サツマイモを植付けました（5月24日）。また、市民会議指導員のご厚意でサトイモを助川しています。さらに8月19日に、秋ジャガイモを植付けました。



サツマイモの植え

5月24日にサトイモが助川す 8月19日に秋ジャガイモ

**ふれあいボランティアパスポート・花いっぱい運動**

「ふれあいボランティアパスポート」や「花いっぱい運動」については、既に、事業を廃止しております。ご関心のある方は市民会議事務局までお問い合わせください（電話：070-2371-1184）。

# 小郡市青少年育成市民会議 規約

昭和 5 8 年 7 月 1 0 日 施行

令和 2 年 5 月 1 1 日 一部改正

(名称)

第 1 条 この会は、小郡市青少年育成市民会議（以下「会議」）という。

(目的)

第 2 条 この会議は、青少年問題のもつ重要性にかんがみ広く市民の総意を結集し、青少年の健全な育成及び非行防止を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会議は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 地域社会をあげて青少年の健全育成を推進する気風の醸成
- (2) 青少年がその誇りと責任について自覚を高めるための活動
- (3) 健全な青少年団体及びグループ活動の育成と青少年がこれに参加することを奨励するための活動
- (4) 青少年のための施設の効果的な利用を図るための活動
- (5) 家庭、学校、地域等の連携を密接にするための活動
- (6) 健全な家庭づくりを推進するための活動
- (7) 青少年の非行防止、早期発見、社会環境の浄化を図るための活動
- (8) その他、この会議の目的を達成するための事業

(組織)

第 4 条 この会議は、第 2 条に賛同する個人、団体及び関係機関をもって組織する。

(賛助金)

第 5 条 この会議の賛助金は、次のとおりとする。

- (1) 個人賛助金 年額 1 口 1 0 0 円
- (2) 団体賛助金 年額 1 口 2, 0 0 0 円

(代議員)

第 6 条 この会議の代議員は、団体及び関係機関より選出された代表者で構成する。

(代議員の任期)

第 7 条 代議員の任期は 1 年とする。但し、再任を妨げない。なお、欠員を生じた場合の補欠代議員の任期は、前任者の残任期間とする。

(機関)

第 8 条 この会議に次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 指導員会

(総会)

第 9 条 総会は代議員をもって構成する。

2 総会は、会長が招集する。

3 総会に議長をおき、次の事項を決議する。

- (1) 事業計画及び予算の承認に関すること。
- (2) 事業報告及び決算の承認に関すること。
- (3) 規約の改廃に関すること。
- (4) 役員承認に関すること。
- (5) その他理事会において必要と認められた事項に関すること。

4 総会の議事は、出席者の過半数の同意を得て同数のときは議長の決する所による。

(理事会)

第 1 0 条 理事会は、会長・副会長及び理事をもって構成し、企画運営に関することを掌理する。

(指導員会)

第 1 1 条 指導員会は、校区協働のまちづくり協議会（以下「校区まち協」という）より選出された指導員で構成し、校区まち協との連絡調整にあたるものとする。なお、職務については、別途定めるものとする。

2 指導員は校区まち協選出の理事を兼務する。

(連携・協力)

第 1 2 条 この会議は、校区まち協並びに青少年育成に関する機関及び団体と連携・協力して、青少年の健全育成にかかる諸問題の解決に取り組むものとする。



## (役員)

第13条 この会議に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 理事 33名以内
- (4) 監事 2名

## (役員職務)

第14条 この会議の役員は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会議の業務を統轄し、この会議を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。そのほか、この会議の運営にあたる。
- (3) 理事は、規約第10条に定めるところによりその職務を行う。
- (4) 監事は、この会議の会計処理を監査する。

## (役員選任)

第15条 この会議の役員は次のとおりとする。

- (1) 会長・副会長及び監事は、理事会において選出し、総会で承認する。
- (2) 理事は、団体・関係機関の代表及び見識を有する者より選出し、総会で承認する。

## (役員任期)

第16条 役員は、1年とする。

- 2 補欠による役員は、前任者の残任期間とする。
- 3 再任を妨げない。

## (専門部会)

第17条 この会議に専門部会をおくことができる。

## (顧問)

第18条 この会議に顧問をおくことができる。顧問は会長が委嘱し、この会議の運営に関し意見を述べることができる。

## (事務局)

第19条 この会議の事務を処理するため、事務局を会長の指示する所に置き、事務局に次の者を置く。

- (1) 事務局長 1名
- (2) 事務局員 1名
- 2 事務局長は、会長が任免する。
- 3 事務局長は、この会の日常の業務を掌握すると共に運営にあたる。
- 4 事務局員は、この会の会計及び事務を処理する。

## (経費・会計年度)

第20条 この会議の経費は、賛助金及び助成金、その他の収入をもってあてる。

- 2 会計年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終わる。

## (雑則)

第21条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、理事会の議決を経て会長が定める。

- 附 則 この規約は、昭和58年7月10日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成2年6月2日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成8年5月11日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成16年5月22日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成17年5月14日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成18年5月13日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成26年5月10日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成27年5月9日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成29年5月21日から施行する。
- 附 則 この規約は、令和元年5月12日から施行する。
- 附 則 この規約は、令和2年5月11日から施行する。

## 40周年記念事業実行委員会名簿

実行委員会委員長		工藤 正則	
記念行事委員会		記念誌委員会	
委員長	山本 拓	委員長	米倉 政実
副委員長	藤江浩太郎	副委員長	山田 敏郎
委員	赤岩 康治	委員	伊賀上政之
〃	伊藤 俊	〃	中島 輝光
〃	大曲 正純	〃	永田のぶ江
〃	北川 修一	〃	永利 茂信
〃	小屋松和行	〃	永利 義広
〃	重松真理子	〃	野口 晃裕
〃	嶋田 暁人	〃	松井智代子
〃	吉田 雅子	〃	松村 光義
〃	大澤 靖浩	〃	村上憲太郎
〃	中村 登	〃	柳 茂
		〃	大淵富士雄
事務局	山川 雅子 (局長)	西村 善博 (局員)	

### 編集後記

小郡市青少年育成市民会議が設立40周年を迎え、記念大会を開催するとともに記念誌を発行することになりました。本記念誌は、先に発行した30周年記念誌には平成24年度までの事業・活動内容が掲載されていますので、その後10年間の平成25年度から令和5年度の40周年記念大会（11月5日開催）までの概要を掲載することになりました。特に事業や活動などについては写真をできるだけ多く使用し、一目でご理解いただけるように心がけて編集しました。

先の30周年記念誌とあわせて、本市民会議の40年間にわたる活動実績について市民の皆様のご理解の一助となれば幸いです。また、本市民会議の今後の活動が青少年の成長や活躍に少しでも支援、貢献できるように心新たに尽力していく所存ですので、市民の皆様の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

本記念誌に快くご寄稿いただいた方々を始め、編集・発行にあたってご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

記念誌委員会



発行日 2024年3月

編集 小郡市青少年育成市民会議40周年記念事業実行委員会

発行 小郡市青少年育成市民会議

